

母児接触の大切さ
『カンガルーケア』ってなあに？



母児接触の大切さ

親子の絆を深める「カンガルーケア」

『カンガルーケア』ってなあに？



～もともとは保育器の不足から始まったカンガルーケア～

低出生体重児を収容する保育器が足りなかったため、お母さんの体温で赤ちゃんを保温してもらおうと、素肌に抱っこしてもらったところ、赤ちゃんの体温保持はもちろんのこと、低出生体重児の生存率も改善。お母さんの育児放棄もとても少なくなり、お母さんと赤ちゃんの愛情形成にとても役立ったとのこと。その後カンガルーケアは世界に広まりました。

～赤ちゃん和妈妈が素肌で触れあうカンガルーケア～

カンガルーケアとは、出産後すぐに、赤ちゃんをお母さんの素肌の胸の上に抱っこすること。その様子がカンガルーの親子のようだというので、カンガルーケアと名付けられました。

『カンガルーケア』の素晴らしいところ

- ★ 保育器よりもお母さんの肌の方が体温を保つ効果が高い
- ★ お母さんが呼吸する事で、赤ちゃんが刺激されるため、呼吸が規則的になり安定する
- ★ 赤ちゃんの眠りが深くなり、起きている時も穏やかになる
- ★ もともと健康な人の肌には、常在菌が付いていて、お母さんの常在菌を赤ちゃんに与える事で、感染症の危険が減少する
- ★ 母乳保育が進む

何より重要なのは、赤ちゃんとお母さん・家族との『愛着』の形成や、お母さんの気持ちの安定にとても有効だということです。

『カンガルーケア』って知っていますか？









「カンガルーケア」って危ないの？

事故が発生しているのは「分娩直後のカンガルーケア」です。
全ての事故に共通しているのは「事前説明なし・医療従事者の不在」という事です。

原因はいろいろで、赤ちゃんが冷えてしまい（低体温）低血糖状態になり呼吸が停止。赤ちゃんの足を曲げずにうつ伏せにした状態で酸素飽和度が下がってしまった。何らかの原因で赤ちゃんの顔面が圧迫されたため窒息してしまいました。などです。

～当院では～

-  まずは、妊娠中にカンガルーケアについて学んで頂きます
-  カンガルーケアを希望されるか否かはお母様自身で選択して頂きます
-  分娩中、または分娩後に異常があった場合はカンガルーケアをせずに様子をみます
-  出生後に一般状態（呼吸・心拍数・体温など）を観察し、異常なければ実施します
-  カンガルーケア時の赤ちゃんのポジション（足曲げ姿勢・顔を横向き）に注意します
-  カンガルーケア時、医療従事者は傍を離れない様にします
万が一、傍を離れなければならない場合は、カンガルーケアを一旦中止します

最終的に「カンガルーケア」をするか？しないか？を決めるのはお母様自身です。カンガルーケアの利点や危険性を把握した上で、よいお産、また母と子の絆を深めるカンガルーケアを実施する事が望ましいでしょう。